

医療法人 清梁会 高梁中央病院

〒716-0033
岡山県高梁市南町53
TEL (0866) 22-3636 FAX (0866) 22-0536
http://seiryokai.jp/takahashi

◆LDL吸着療法の紹介

当院では令和三年八月からLDL吸着療法を始めました。

閉塞性動脈硬化症は動脈硬化により手足の血液循環が悪くなり、手足冷感・しびれなどの症状が出てきます。また血行不良により皮膚の一部に潰瘍ができ、さらに症状が進むと壊死の状態になってしまふなどが特徴です。この疾病の治療法の一つとしてLDL吸着療法があります。

LDLとは低密度リポタンパク (low density lipoprotein) の略、いわゆる悪玉コレステロールのこと、動脈硬化の原因となる物質です。LDL吸着療法では、まず体から血液を取り出し、吸着器で悪玉コレステロール及びフィブリノーゲンを選択的に吸着し取り除き、綺麗になった血液を体に戻します。治療前には下肢が冷たくしびれが強く、潰瘍のある患者さんにおいて、当治療法を受けると、過剰なフィブリノーゲンや悪玉コレステロールを吸着し除去でき、下肢の血液循環の改善が見込めます。

当院では株式会社カネカ製の「レオカーナ」を使用しており、一度の治療にかかる時間は約二時間程度、三カ月内で最大二十四回行います。潰瘍を伴う重症閉塞性動脈硬化症が適応症例となります。

詳細につきましては、当院透析センターまでお問合せ下さい。



◆コロナ禍を乗り切る、新時代へ向けた学術発表

八月二十・二十一日、全日本

病院学会・岡山が開催されました。全国の医療機関が自院の取り組みについて発表を行うこの大会は、歴史も長く毎年多くの病院が参加しています。今年もウェブ上で行うオンライン開催と、現地での開催を併せたハイブリッドの方式が予定されていました。また、開催地である岡山県においても感染者の急増が確認され、オンラインによる配信のみでの開催となりました。しかしながら、全国の医療機関がコロナ禍で多忙を極める中、一般演題の数は五百を超え、過去の大会の中でも大規模なものとなりました。感染拡大が収束しない以上、コロナ禍においてはこのような開催方式の変化については時代の一部と考え、どのような形で再開するべきか、より便利な方法はあるのかを考慮

けなくてはなりません。これはまさに今大会のテーマにもなっている「持続可能へのチャレンジ」として、病院がこれから取り組むべき大きな課題の一つです。

このテーマは大会長講演の中でも一層大きく取り上げられ、私達医療従事者が医療の持続可能へ向けて取り組むべき課題について、「モノからコトへ」という考え方を中心とした自院の事例を踏まえて講演されていました。新型コロナウイルス発生から一年半が経過し、収束がみられない今、withコロナという考え方を基盤とした病院経営が重要となること、日本の医療は今後、超少子・高齢化による人口減少問題を抱えたまま進むこと、これらの課題について今だからこそより強固な地域医療連携が求められると述べられました。

また、コロナ禍に経験した病院経営の問題に焦点をあてたセッションでは、コロナ禍の経営実態を段階に分けて分析・考察され、医療費の動向、コロナ患者受け入れの評価などを振り返りながらこれからの対策と立て直しについて話されました。

今回、個人での発表となる一般演題は九月六日からオン

デマンドによるウェブ上での配信となっています。先進的・画期的な取り組みは今回のような学術大会を通して共有し、病院として医療の歩みを止めることなく学び続け、地域の皆さんに還元できるような精進して参りたいと思います。

研修医の紹介

岡山市民病院
藤田 莉緒 内科専攻医
済生会総合病院
物部 友希 研修医(8月)

倉敷中央病院
福田 真優 研修医(9月)





当院での新型コロナウイルス ワクチン接種について

現在、当院での新型コロナウイルスのワクチン接種は一時休止しておりますが、「**高梁市在住の中学生に限り**」ワクチン接種の受付を再開しております。

詳細につきましては、当院代表電話へお問い合わせください。

TEL : 0866 - 22 - 3636 (代表)

こちら「臨床検査科」です！

臨床検査科のご紹介

臨床検査は疾病の診断から健康管理に至るあらゆる分野で重要な役割を果たしており、医師が診断・治療を行うために必要なデータを提供するのが私たち「臨床検査技師」です。

臨床検査技師が行う検査は、患者さんから採取された血液・尿・喀痰・組織などを検査し、臓器の状態や治療の経過を調べる「検体検査部門」と、患者さんの身体から発生する微弱な電気信号や画像を基に解析する心電図・脳波・超音波検査などの「生理検査部門」に大別されます。

○生化学・免疫検査

身体の状態を知る上で必要な検査で、酵素・蛋白質・糖質・脂質・電解質などを測定し、肝機能や腎機能、糖や脂質の代謝などを調べます。また、HBs抗原やHCV抗体などの感染症や腫瘍マーカーなども測定しています。

○血液検査・一般検査

赤血球・白血球・血小板やヘモグロビンなどを測定し、貧血や血液疾患が無いことや炎症の程度などを調べます。また、尿中の蛋白・糖・潜血・白血球などを測定するほか、血球成分や円柱などの成分を調べることで、腎疾患や尿路感染症、糖尿病の状態把握に役立ちます。

○新型コロナウイルス PCR検査

PCR検査とは、目的のウイルス等の遺伝子を増幅させて検出する検査です。唾液や鼻腔ぬぐい液を採取して新型コロナウイルスに感染していないか調べます。検査は検体採取から約1時間で結果が出ます。

○心電図検査

全自動遺伝子解析装置「Smart Gene」

心臓の電気的興奮を体の表面につけた電極で捉え、波形として記録する検査です。心臓のリズムの乱れを心電図で計測し、不整脈の鑑別（危険性の少ない不整脈と治療が必要となる危険性の高い不整脈）、波形振幅の大きさや形の変化で、心肥大や虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）などの鑑別診断が可能です。

○超音波検査

腹部超音波では、主に肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓などの形や大きさ、腫瘍などの有無を調べます。同時に胃腸・前立腺・婦人科臓器などの大まかな異常の有無も調べることが可能です。心臓超音波では、主に心臓の動きや壁の厚さ、心臓内の弁の状態などを観察する検査です。虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）や心不全の程度、治療効果の判定などを調べることが可能です。

その他、整形領域・耳鼻科領域・血管・乳腺等の超音波検査も実施しています。

